

OpenSearch Meetup Tokyo #1

2026年2月5日 (木) @ AWS Japan 目黒オフィス

OpenSearch Tokyo User Group

#OpenSearch #OpenSearchCommunity



Welcome to OpenSearch Tokyo User Group!

OpenSearch Tokyo User Group の第一回ミートアップイベントへようこそ！

OpenSearch は検索や Observability のワークロードのための OSS です。

本イベントでは、OpenSearch プロジェクトの概要や OSS の今後のロードマップ、ユーザからの体験談などをご紹介します。

⚠ 扱わないトピック: AWS などのベンダーサービス固有の話

タイムテーブル

時間	内容	時間	内容
18:30	開場・受付	20:15	ユーザー SESSION② Serverless Operations
19:00	オープニング	20:40	ユーザー SESSION③ 株式会社ラクス
19:05	OpenSearch Project アップデート	21:00	クロージング（中締め）
19:25	OpenSearchCon レポート	21:05	懇親会
19:50	ユーザー SESSION① 弥生株式会社	21:45	退館開始
		22:00	完全退館

ユーザーセッション①

OpenSearch Warm Tier設計の実践 - UltraWarm経験から学ぶIndex/Shard最適化

弥生株式会社 Kazuma Imaizumi さん

ISM、Index、Shardの基本概念から、シャードサイズ設計のベストプラクティスと実運用での最適化まで解説。週1TB、1,000以上のシャード、1シャード約100GBでの経験をもとに、時系列データの効率的な管理とコスト最適化を目指す技術者向けの内容。

ユーザーセッション②

「うまく言えない」検索を叶える — OpenSearchと生成AIで作る類似プロジェクト検索

Serverless Operations, Inc. Sonu Kim さん

「前に似たような案件があったはずだけど、どう検索すればいいか分からない」を解決。OpenSearchで類似プロジェクトを検索する仕組みを構築し、生成AIでデータを前処理・構造化するアプローチを紹介。

ユーザーセッション③

VectorDBとしてのOpenSearch ~5,000万件超のベクトル検索をコストを抑えて運用する技術選定

~

株式会社ラクス Nobuhiro Inaguma さん

5,000万件超のベクトルを対象に、メモリコストの増加を Disk-based vector search の活用で抑えた事例を紹介。

次回登壇者募集中！



OpenSearch に関する体験談、
ナレッジシェアをお待ちしています

応募フォームはこちら →

懇親会 (~22:00)

セッションに関する QA、飛び込みでのナレッジシェア等も大歓迎です



完全退館 22:00 です。ご協力よろしくお願ひいたします。

ご参加ありがとうございました！

次回のミートアップでまたお会いしましょう 

